

## 第 19 回 コムズフェスティバル 市民企画分科会 実施報告書

グループ名	NPO 法人ワークライフ・コラボ×NPO 法人ピアリンク in えひめ
開催日時	2018 年 1 月 27 日(土) 13:00～15:00
テ ー マ	ナースのための、キャリアライフデザイン交流会
講 師 等	松山市保健所保健師、松山急患医療センター看護師、渡部病院看護主任
参加人数	合計 14 名 (女性 14 名, 男性 名)
実行委員数	合計 3 名 (女性 3 名, 男性 名)
<p><b>〈内容〉</b></p> <p><b>【ねらい】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ナースを目指す学生が、就職先を安易に決めず、将来を見据えて就職先を考えるきっかけとなる。また、想定外の出来事が起こった場合の折り合いのつけ方を知ることができ、安易に辞めずにすむ。</li> <li>・これから転職や再就職をしようとしているナース（潜在ナース）が、事例や学生との交流を通じ、これまでのキャリアを振り返り、キャリアパスに気づき、働くことを肯定的にとらえることができ、一歩踏み出すきっかけとなる。</li> </ul> <p><b>【構成】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オープニングトーク ファシリテーター (ピアリンク in えひめ田中×ワークライフ・コラボ堀田) 交流会の主旨とワークライフ・バランスについて。</li> <li>2. パネリスト 3 名の話をお聴こう 講師の方のワーク×ライフについてライフラインを用いてお話しいただく。</li> <li>3. フリートーク(トークセッション) ファシリテーターが 3 名の価値観やパートナーシップなど想いをさらに引き出す。</li> <li>4. ワークショップ 参加者のグループワーク。未来に重点を置いたライフラインを作成し、質疑応答。振り返りとして全体で感想や意見をシェア。</li> </ol> <p><b>〈参加者の声〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出産と仕事がどちらもうまくいって当然だと思っていたけれど、そうではないと知り価値観が変わった。(10 代学生)</li> <li>・働くこと、人生を送ること(結婚・出産・子育て・介護など)の両立は大変だけど、臨機応変に楽しみながらいくことが大切と気づけた。(10 代学生)</li> <li>・転職は普通にあること、希望通りに事は進まないことがあっても折り合いをつけながらやっ</li> </ul>	

ていけることを様々な年齢層の方と話せて知った。(10代学生)

・就職してからもいろいろな悩みがあることがわかった。子育てしながらでも続けられる働き方を知れた。子育て・仕事・家庭の両立について考えさせられた。(20代学生)

・プロとして働く方とこうやって自由に話す機会がないので、良い時間だった。(20代学生)

・さまざまな働き方や生活の仕方があって、正解はないとわかって良かった。(20代社会人)

・ライフラインを書くことで、自分を振り返り、なりたい自分を考える機会になった。(20代社会人)

・普段はナースから話を聴くことがないので新鮮だった。話を聴いて私も頑張りたいと思えた。(40代潜在ナース)

・子育てと家庭と仕事の両立に疲れを感じていた。同じような女性の話を聴くことで、勇気づけられ今後も頑張れると思えた。(40代現役ナース)

・若い世代の意見や考え方を知る機会ができた。(40代現役ナース)

### 〈まとめ〉

当日のお申し込みは18名の方(学生9名、潜在・既存ナース9名)からいただき、当日は4名の欠席があったものの、パネリスト3名の話を聞いたのちのワークショップでは、個々の悩み解決につながるような、大変有意義な時間を過ごすことができた。

参加した学生は、価値観が良いように変わり、潜在ナースやパネリストの皆様からも、ご自分の仕事や生活、子育てについて見直す良い機会となったというお言葉をいただいた。

今回のプログラムの実施は、これまで一般学生には実施していたが、専門職の方への初めての事業でもあり、まだまだ課題はあるが、「ジョブキャリア」だけではなく、「ライフキャリア」を考える必要性を、世の中の大きな変化からも強く感じる機会となった。



